

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	ドンナイ省、ラムドン省でインクルージョン教育研修システムが構築され、他省のモデルとなっている。ドンナイ省、ラムドン省の障害ある児童の就学率が増加する。
(2) 事業内容	<p>1. <u>キーティチャーの育成（各地区の指導者研修）を計画通り実施した。</u></p> <p><u>ラムドン省のキーティチャーに対する中級障害児教育研修</u> 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人4名を含む）が、ラムドン省の30名のキーティチャーに対して、中級障害児教育2週間研修を実施した。 知的障害児教育研修 A 15名 < 6月29日（月） - 7月10日（金） > 知的障害児教育研修 B 15名 < 6月29日（月） - 7月10日（金） ></p> <p><u>ドンナイ省のキーティチャーに対する上級障害児教育研修</u> 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人4名を含む）が、ドンナイ省の31名のキーティチャーに対して、上級障害児教育2週間研修を実施した。 知的障害児教育研修 16名 < 6月29日（月） ~ 7月10日（金） > 聴覚障害児教育研修 15名 < 6月29日（月） ~ 7月10日（金） ></p> <p>2. <u>各小学校の校内指導教師研修を計画通り実施した。</u> 当会が結成したホーチミン市の障害児教育専門家チームが、ドンナイ省とラムドン省で、それぞれ200名（各小学校1名~3名）を対象にしたインクルージョン教育研修を、それぞれ1回3日間、3回実施した。</p> <p>ラムドン省知的障害児教育 A 69名 <10月26日（月）~10月28日（水） > ラムドン省知的障害児教育 B 65名 <10月27日（火）~10月29日（木） > ラムドン省知的障害児教育 C 66名 <10月28日（水）~10月30日（金） > 合計 200名</p> <p>ドンナイ省聴覚障害児教育 57名 <10月28日（木）~10月30日（土） > ドンナイ省知的障害児教育 1 69名 <11月2日（月）~11月4日（水） > ドンナイ省知的障害児教育 2 68名 <11月5日（木）~11月7日（土） > 合計 194名</p>

（ここでページを区切ってください）

	<p>3. <u>各地区の地区内研修</u> (ドンナイ省教育局、ラムドン省教育局の費用負担) *別添1～別添9に詳細</p> <p>ドンナイ省とラムドン省の各30名キーティチャー対象の夏の2週間研修後、ラムドン省12地区は、6地区が9月29日と9月30日の2日間、また、6地区が10月1日と10月2日の2日間、全地区が地区研修を実施した。テキストは夏のキーティチャー研修で使用した当団体のテキストを各キーティチャーが再編して使用した。</p> <p>ドンナイ省では、11地区の内9地区が8月～翌2月の期間に研修を実施した。講師は各地区のキーティチャー、期間は1日間から2日間、テキストは夏のキーティチャー研修で使用した当団体のテキストを各キーティチャーが再編して使用した。</p> <p>4. <u>各小学校の校内研修</u> (ドンナイ省教育局、ラムドン省教育局の費用負担) *別添1～別添9に詳細</p> <p>ドンナイ省とラムドン省の各小学校では、専門家により育成された校内指導教師や、キーティチャーが、障害ある児童を受け持つ教師に対して、必要に応じて研修を実施した。</p>
(3) 達成された成果	<p><ラムドン省> 別添1～別添4に詳細</p> <p><u>A. 児童の就学率</u></p> <p>1. 障害ある児童の【2年目58%以上】が近隣の公立学校に通って、授業を受け、生活も向上している。</p> <p>2. 近隣の小学校へ通う障害ある児童の中で退学者が【2年目0%】である。</p> <p><u>B. インクルージョン教育研修システムの構築の進捗</u></p> <p>1. 必要時に研修を実施している小学校の割合が【2年目90%以上】である。</p> <p>2. 年1回以上研修を実施している地区の割合が【2年目100%以上】である。</p> <p>2014 - 2015 学齢期における障害ある児童の数：1,199人 特別学校に通う児童の数：206人 近隣の小学校に通う児童の数：419人 事業実施1年目：52%の障害ある児童が初等教育を受けている</p> <p>2015 - 2016 学齢期における障害ある児童の数：1,199人 特別学校に通う児童の数：211人 近隣の小学校に通う児童の数：490人 事業実施2年目：58%の障害ある児童が初等教育を受けている</p>

	<p><ドンナイ省> 別添5～別添9に詳細</p> <p><u>A. 児童の就学率</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害ある児童の【2年目 57%以上】が近隣の公立学校に通って、授業を受け、生活も向上している。 2. 近隣の小学校へ通う障害ある児童の中で退学者が【2年目 0%】である。 <p><u>B. インクルージョン教育研修システムの構築の進捗</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修を実施している小学校の割合が【2年目 100%以上】である。 2. 全地区内で毎年1回以上研修ができています。 ドンナイ省全11地区の内、2014年度は9地区が研修を実施した。 <p>* ドンナイ省教育局は、2016年2月に、省内の小学校の学齢期における障害ある児童の数を再度調査した。</p> <p>2013 - 2014 学齢期における障害ある児童の数：2,249人 特別学校に通う児童の数：110人 近隣の小学校に通う児童の数：892人 事業実施前：44%の障害ある児童が初等教育を受けている</p> <p>2014 - 2015 学齢期における障害ある児童の数：2,249人 特別学校に通う児童の数：178人 近隣の小学校に通う児童の数：963人 事業実施1年目：50%の障害ある児童が初等教育を受けている</p> <p>2015 - 2016 学齢期における障害ある児童の数：2,249人 特別学校に通う児童の数：175人 近隣の小学校に通う児童の数：1,118人 事業実施2年目：57%の障害ある児童が初等教育を受けている</p>
(4) 持続発展性	<p>ベトナム政府は、インクルージョン教育に従事する教師の給与を現行の1.3倍にすることを閣議決定した。また、特別支援教育に従事する職員の給与は1.7倍にすることも閣議決定して実際に実施されている。</p> <p>2015年12月ドンナイ省の各地区11地区の小学校をモニタリングで訪問した際、ドンナイ省のほとんどの地区では、インクルージョンクラスの担任の教師の給与が1.5倍の待遇に改善されていた。この事が、ドンナイ省における関係者のインクルージョン教育のモチベーションを高める事になり、持続発展性にも大きく貢献する事になった。</p> <p>また、ドンナイ省では、2015年になったようやく各コミュニティに医療チームが結成され、医療チームによって、各小学校の障害ある児童の診断がなされるようになった。診断書があると、障害ある児童に奨</p>

	<p>学金が人民委員会より支給される。この事も、関係者のインクルージョン教育のモチベーションを高める事になり、持続発展性にも大きく貢献する事になった。</p> <p>ラムドン省では各コミューンに医療チームが結成されていて、医療チームによって、各小学校の障害ある児童の診断がなされていた。診断書があると、障害ある児童に奨学金が人民委員会より支給される。しかし、インクルージョンクラスの担任の給与は、他の教師と同じで特別な手当はない。ただ、教育局関係者も、ドンナイ省のように、インクルージョンクラスの担任に対して特別手当を出せるように努力をはじめている。</p>
--	---